

近藤和美の8000m峰登山歴

山名(標高 m)	年度	季節	地 域	登高ルート	派遣団体	担務	隊員数	登頂者数	自身の到達高度 (年齢) ※は無酸素	備 考
エベレスト (8848)	1998	春	チベット	北稜～北東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	12	8	登頂 (56歳)	隊長として最高の登山の一つ。日本隊最多登頂者数記録。
K 2 (8611)	2000	夏	パキスタン	南東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	10	—	6600m (58歳)	ブロードピークからの連続登山。悪天候の中、1人が7300m到達。
	2002	夏	パキスタン	南東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	6	—	7300m (60歳)	前線は7850mまで迫ったが、悪天候で断念。
	2004	夏	パキスタン	南東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	9	4	7800m※ (62歳)	自身は登頂できなかったが、隊長として会心の登山。 1人が無酸素登頂
カンチェンジュンガ (8586)	2012	春	ネパール	南西面	雪豹同人	隊長	2	—	8086m (70歳)	山頂直下500mまででいったん撤退。テント火災で再攻撃断念。
ローツェ (8516)	1997	秋	ネパール	西面	日本勤労者山岳連盟	隊長	10	2	7900m※ (55歳)	アタックは10月下旬にずれ込み、寒風厳しいものがあった。
	2011	春	ネパール	西面	雪豹+F9:F11同人	隊長	1	1	登頂 (69歳)	思い描いた通りの登山進行で、頂上に到達できた。
マカルー (8463)	—	春	ネパール	北西稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	7	2	7000m (66歳)	予定のチベットに入域できず、急遽目標を変更した遠征。
	2011	秋	ネパール	北西稜	雪豹同人	隊長	1	—	6600m (69歳)	持続的強風とシェルパの不調で断念。
チョーオユー (8201)	1992	秋	チベット	西面	カトマンズクラブ	隊員	15	12	登頂※ (50歳)	自身初の巨峰挑戦。 雪崩に襲われたが、九死に一生を得た後
ダウラギリ1峰 (8167)	1995	秋	ネパール	北東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	4	登頂※ (53歳)	順調に進行して大きな成功を得た。
マナスル (8163)	2001	秋	ネパール	北東面	日本勤労者山岳連盟	隊長	6	3	7400m (59歳)	1次隊3人登頂。しかし2次隊の1人が高山病で死亡。
	2009	春	ネパール	北東面	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	4	登頂 (67歳)	天候不順で、40日間の登攀期間をフルに使って成功にこぎつける。
ナンガパルバット (8125)	1999	夏	パキスタン	西壁	日本勤労者山岳連盟	隊長	7	5	登頂※ (57歳)	順調に進行して大きな成功を得た。ヘルマン・プールのピッケルを拾得。後日、夫人の手許に。
アンナプルナ1峰 (8091)	2013	冬 12月	ネパール	北面	雪豹同人	隊長	2	—	6000m (72歳)	雪崩の危険度と費用の通減を狙ったが、冬季は日照僅かで厳しかった。
ガッシャーブルム 1 峰 (8068)	2003	夏	パキスタン	北面	日本勤労者山岳連盟	隊長	4	—	6400m (61歳)	G 2からの連続攻撃だったが、ガッシャーブルム鞍部で敗退。
	2005	夏	パキスタン	西稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	6	1	7200m※ (63歳)	シェルパの雪庇踏み抜き死亡で、2次アタック中止。
ブロードピーク (8047)	2000	夏	パキスタン	西面	日本勤労者山岳連盟	隊長	10	4	登頂※ (58歳)	カラコルムの天候不順を思い知ることになった登山。
ガッシャーブルム 2 峰 (8035)	2002	夏	パキスタン	南西稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	—	5500m (60歳)	日本ヒマラヤ協会 G 1 隊の事故救助で、当方の登山は実行中止。
	2003	夏	パキスタン	南西稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	4	登頂※ (61歳)	8000m峰無酸素登頂の日本人最高齢記録。
シシャパンマ (8027)	1992	秋	チベット	北東稜	カトマンズクラブ	隊員	14	—	7430m (50歳)	チョーオユーからの連続攻撃は強風で敗退。
	1994	春	チベット	北東稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	8	6	登頂※ (52歳)	雪質不安定で主峰断念。中央峰 (8008m) に登頂。
	2010	春	チベット	北クーロワール	日本勤労者山岳連盟	隊長	2	1	登頂 (68歳)	1980年オーストリア隊初登攀ルートから、ついに主峰に登頂。